

学校支援を積極的に進めよう

～安心・安全の学校づくりに取り組むPTA～

東栄町立東栄中学校PTA

1 学区及び学校の概要

東栄町は、愛知県の東端に位置し、静岡県に接した人口3,000人足らずの山に囲まれた小さな町である。本校は、町の中心部の高台に位置する町で唯一の中学校であり、全校生徒数49名の小規模な学校である。

東栄町では、毎年11月から3月にかけて、国の重要無形文化財に指定されてる「花祭」が町内の11カ所で開催される。鎌倉時代から代々伝承されてきた神事で、生徒たちは、その伝承者として、地域で大切に見守られ、育てられている。学校への関心は高く、学校行事や授業参観への保護者の参加も多く、PTA活動にも非常に協力的である。

2 研究のねらい

校訓「自ら学び 心豊かに たくましく」の実現に向け、本年度は「出会い」、「ふれ合い」、「学び愛」（3つのあい）を重点目標として、学校運営を進めている。保護者は、その実現のため、積極的に学校を支え、その基盤となる安心・安全な学校づくりに取り組んでいくことが重要であると考え。そこで、子どもたちが安心して、安全に生活するための学校支援を考え、取り組むこととした。

3 研究の仮説

保護者が積極的に学校の安心・安全に関わるPTA活動を推進していくことで、保護者（家庭）、地域、学校との連携を図ることができ、めざす生徒の育成につながるだろう。

4 研究の方法

PTAの2つの委員会（文教・体育厚生校外指導）及び学年委員の機能を活かし、各種行事や活動を企画・推進・支援していく。

5 研究の実践

（1）保護者と連携した親子奉仕作業と親子活動

学年委員が中心となり、年に2回（6月・8月）親子奉仕作業を行った。その内容は、校地の草刈りや生徒が行う普段の清掃活動では手の届かない場所の掃除である。8月の作業は、熱中症予防のため、早朝からの作業であったが、保護者が刈った草を生徒が集めて捨てるなど、役割分担をしながら、親子で協力して学校を美しくすることができた。

夏休み明けに生徒が、安心・安全に学校生活や学習・運動ができる環境を親子で整えることができた。

親子奉仕作業の終了後には、学年委員の企画・運営で、親子でスポーツを楽しむ親子活動も計画し、スポーツを通して、親子だけでなく保護者同士の親睦も深めることができた。環境美化だけでなく、人間関係も深まったことで、我が子だけでなく、保護者みんなで、全校の「この子」を育てようという意識を高めることができた。

会員数も少なくなる中で、広い校地・校舎の整備は大変だが、今後も継続していきたい活動である。



【親子奉仕作業】

(2) 生徒の安心・安全を守る活動

ア 引き渡しルートの策定

本校は高台にあり、学校に至るまでの道幅が狭く、車両のすれ違いが難しい箇所がある。そのため、これまでは、途中の広場での引き渡しを行ってきた。しかし、最近はゲリラ豪雨や激しい落雷など、これまでにない気象現象が見られるようになり、学校での引き渡しの必要性が強くなってきた。

そこで、体育厚生校外生活委員会が中心になり、どのようなルートで、どのようなルールを作れば安全に引き渡すことが可能かを考え、提案することとした。学校に迎えに来る保護者目線で考えたことで、より安全な案を策定することができた。



【引き渡しのルートの検討】

イ 下校時の防犯・交通安全パトロール

保護者や教員の負担軽減の観点から、今年度より、従来の部活動の朝練習を行わないことになり、その分の運動時間を、冬季の下校時間を遅くすることで確保することにした。

そこで、これまで行ってきた保護者と教員による下校時の防犯・交通安全パトロールを見直し、充実させることになった。実施時期を長くすることで、保護者の出役回数は増えることになるが、PTA役員が複数回行うことで、生徒の安心・安全を支える計画に、役員一同が賛同して進めている。

(3) 学校行事の支援

ア 各種大会の激励会

郡内で行われる各種大会前には、PTA役員を中心に、保護者による激励会を行った。生徒たちは、大会への意気込みを保護者の前で発表することで、大会への意識を高め、保護者の激励の言葉によって、自信と自覚を高めて大会に臨むことができた。

イ 体育大会

生徒数の少ない本校の体育大会は、各種種目やその準備に生徒が駆け回っている。そんな生徒たちの休憩時間を生み出すため、また、地域の方と触れ合う時間を設けるため、PTA役員が中心となりPTA種目を計画した。今年度は、より盛り上がる競技というねらいから「綱引き」を実施し、保護者だけでなく卒業生や地域の方等、多くの参加を得て大会を盛り上げることができた。



【体育大会の綱引き】

6 研究の考察

各活動を通して、生徒たちの安心・安全を守るためにPTAとして何ができるのか、学校や地域と共に考え、実践することにより、保護者間の交流はもとより地域との交流も深めることができた。

7 成果と今後の課題

様々な活動を通して、PTA活動を学校支援につなげていくためには、生徒たちが安心して、安全に学習活動を行うことができる学校づくりという視点が重要であることを確認することができた。